令和元年度　公益財団法人とやま国際センター事業報告（令和２年３月末現在）

Ⅰ　国際化促進事業

１　国際交流事業

（計画額 2,844 千円 実績額 2,163 千円 ）

新（１）　創立３５周年記念事業

財団創立 35 周年を機に、地域に根ざしたとやま国際センターをアピールし、その魅力を発信することで、当財団の認知度を高め、賛助会員の拡大に努めることを目的として記念事業を実施した。

日　　時：11 月 2 日（土）
会　　場：パレブラン高志会館　2 階　カルチャーホール

ア　記念式典

・理事長式辞
・富山県国際交流部門功労表彰（個人１、団体１）
　個人１　　栗三　直隆　　(NPO 法人富山県日中友好協会副会長
　団体１　　太閤山日本語グループ（代表　清水　美奈子）
・とやま草の根交流表彰（個人４、団体１）
　個人４　　石野　まり子　　(富山市民国際交流協会理事・総務企画委員長)
　　折谷　雅実　　(NPO 富山県日中友好協会前専務理事・事務局長)
　　ダルマ・ラマ　　(富山ネパール文化交流協会会長)
　　廣川　雅人　　(富山県舞台技術研究会理事)
　団体１　　砺波市トルコ友好交流協会（代表　飯田　修平）
・来賓祝辞
・来賓紹介
・祝電披露

イ　県の施策説明

・「富山県外国人活躍・多文化共生推進プランについて」富山県国際課

ウ　記念講演会

・財団創立 35 周年を記念して、多文化共生に関する講演会を実施
　講師：サヘル・ローズ氏（女優、タレント、イラン出身）
　演題：「出会いこそ、生きる力」

（2）草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。

(単位:千円)

団　体　名	事　　業　　名	助成金額
高岡ポルトガル語講師会	おとぎの森学習支援教室	200
富山日越交流会	ベトナム人親子の居場所作り	136
富山市民国際交流協会	観光ガイドマニュアルの作成	100

（3）　国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供した。

日　　時：11 月 10 日（日）
会　　場：富山駅自由通路、CIC ビル内
参加者数：延べ約 5,000 名(28 団体)
主　　催：国際交流フェスティバル 2019 実行委員会

2　国際協力事業

（計画額　112,874 千円、実績額 100,963 千円）

（1）海外研修員等の受入

ア　海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国　名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6 カ月	（株）ワールドリー・デザイン
ロ シ ア	1名	6 カ月	富山情報ビジネス専門学校
中国	2名	6 カ月	富山県新世紀産業機構
		6 カ月	富山県新世紀産業機構
中国（短期）	1名	4 カ月	（有）トヤマ・ヤポニカ

イ　多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国　名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6 カ月	高岡市立野村小学校

ウ　ブラジル富山県人会研修員

富山県が受け入れるブラジル富山県人会研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国　名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	1 カ月	富山大学芸術文化学部ほか

（2）外国人留学生への支援

ア　県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対して滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 2 月 18 日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 2 月 10 日	〃
南米留学生	1名	平成 31 年 4 月 3 日～令和 2 年 2 月 27 日	〃
県立大学遼寧省留学生	1名	平成 31 年 4 月 10 日～令和 2 年 2 月 10 日	富山県立大学
インド AP 州留学生	1名	平成 30 年 9 月 25 日～令和 3 年 3 月 31 日	富山大学

イ　私費留学生への支援

（ア）富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生のうち、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。また、専門学校等で日本語を学ぶ学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	１年生	月額 10 千円支給	支給者数	14 名
	２年生以上	月額 50 千円支給	支給者数	23 名
日本語教育機関の学生		月額 3 千円支給	支給者数	138 名

（イ）国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

・助 成 額：年額 12 千円（本人負担分の　約 2/3）

・支給者数：私費留学生　　204 名

日本語教育機関学生　134 名

（ウ）留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、 住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。

引受件数　　77 件

ウ　アセアン留学生の受入

県と県内企業が連携して実施する留学から就職までを一体とした留学生受入事業による第 2 期アセアン留学生 4 名の滞在 3 年目、第 3 期アセアン留学生 5 名の滞在 2 年目、第 4 期アセアン留学生 4 名の滞在 1 年目の日常生活等を支援した。

	出身国	受入企業	受入期間	留学先
第2期	ﾀｲ	株式会社小矢部精機	H29. 11. 28～R2. 3. 31	富山大学大学院　理工学教育部
	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ	川端鐵工株式会社	H29. 9. 26～R2. 3. 31	富山大学大学院　理工学教育部
	ｲﾝﾄﾞ	ダイト株式会社	H29. 9. 26～R2. 3. 31	富山大学大学院　医学薬学教育部
	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ	ファーマパック株式会社	H29. 9. 26～R2. 3. 31	富山大学大学院　医学薬学教育部
第3期	ミャンマー	大高建設株式会社	H30. 9. 26～R3. 3. 31	富山県立大学　工学研究科
	インドネシア	株式会社新日本コンサルタント	H30. 9. 26～R3. 3. 31	富山県立大学　工学研究科
	タイ	タカノギケン株式会社	H30. 9. 26～R3. 3. 31	富山大学大学院　理工学教育部
	ベトナム	北電情報システムサービス株式会社	H30. 11. 26～R3. 3. 31	富山大学大学院　理工学教育部
	ベトナム	日東メディック株式会社	H30. 9. 26～R3. 3. 31	富山大学大学院　医学薬学教育部
第4期	マレーシア	朝日印刷株式会社	R1. 9. 26～R4. 3. 31	富山大学大学　工学部
	ミャンマー	川端鐵工株式会社	R1. 9. 26～R4. 3. 31	富山県立大学　工学部
	インドネシア	北陸電気工事株式会社	R1. 9. 26～R4. 3. 31	富山県立大学　工学部
	ベトナム	有限会社吉岡板金工業所	R1. 9. 26～R4. 3. 31	富山大学大学　工学部

※受入企業　五十音順

エ　留学生交流拡大・魅力発信事業

外国人留学生が富山県の観光地等を訪れ、魅力に感じた見どころや富山での暮らしぶりについて、インターネット等により海外へ向けて発信する活動を支援した。

第 1 回バスツアー（立山）　外国人留学生 34 名参加

第 2 回バスツアー（五箇山）外国人留学生 46 名参加

（3）ＮＯＷＰＡＰへの協力

国際連合の機関であるＮＯＷＰＡＰ（北西太平洋地域海行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

（4）青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするＪＩＣＡボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

・青年海外協力隊富山県ＯＢ会活動補助金　80 千円

（5）海外移住者及び関連団体への支援

・在外県人会活動費補助金　　1, 270 千円（ブラジル、アルゼンチン、ペルー）

・南米協会活動費補助金　　1, 500 千円

・海外移住家族会活動費補助金　4, 536 千円

3　多文化共生事業

（計画額　27,090 千円　　実績額 20,161 千円）

新（1）富山県外国人ワンストップ相談センターの開設、運営

ア　開所式

日　時　令和元年　6 月 18 日（火）13:00～

場　所　とやま国際センター内（インテックビル 4 階）

参加者　石井隆一富山県知事、麦野英順（公財）とやま国際センター代表理事、
朝日重剛外国人材活躍・多文化共生推進プラン策定委員会座長　等

イ　相談体制（従来の相談業務体制の拡充）

・専任職員（相談ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ及び相談員）を配置し、３カ国語（英語、中国語、ポルトガル語）については、平日 9:00～16:00 で常時対応

・その他、ベトナム語（火・木曜日 9:00～16:00）、韓国語・テルグ語（月曜日 13:00～16:00）、ロシア語（火曜日 13:00～16:00）は国際交流員が対応

・上記以外の言語は、外部通訳委託（13 言語）の iPad や多言語翻訳機（ポケトーク）で対応

・生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（ＮＴＴトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを実施。

・令和 2 年 3 月 23 日（月）より新型コロナ関連の相談に対応するために相談受付時間を延長して対応

英語、中国語、ポルトガル語	月～金曜日	8:30～17:15
ベトナム語	火・木曜日	8:30～17:15
韓国語・テルグ語	月曜日	13:00～17:00
ロシア語	火曜日	13:00～17:00

ウ　関係専門機関との連携

・富山県弁護士会との研修会

日　時　令和元年 10 月 21 日

場　所　富山県弁護士会館

※外国人事件を多く扱う銀座プライム法律事務所の関聡介弁護士が、ケーススタディーを中心に講演を実施

・富山県行政書士会との研修会

日　時　令和元年 11 月 25 日

場　所　富山県民会館

※外国人に関わる相談を多く扱う神奈川県行政書士会国際部副部長の笠間由美子氏による講演を実施

エ　相談件数　　※令和元年 6 月 18 日からの記録　　令和 2 年 3 月 31 日現在

内容／国籍	入管手続	雇用・労働	社会保険・医療	年金・税金	出産・子育て	子供の教育	防災・災害	住宅	身分関係	その他	合計
英語圏	1	9	3	2				1	1	4	21
中　国	17	9	11	5	3	13		1	4	37	100
ブラジル	24	35	39	49	17	29		18	6	124	341
ベトナム	8	9	9	3	5	2		3	1	32	72
日本※1	10	17	14	2	1	6	1	6	5	102	164
その他*2	2	2	5	1	1	2			2	24	39
合計	62	81	81	62	27	52	1	29	19	323	737

＊1.「日本」は、外国人に関する相談

＊2.「その他」の国は、ロシア、インド、パキスタン、バングラディシュ、エジプト、イスラエル、マレーシア、ドイツ、フィリピン、インドネシア、スペイン、ネパール、タイ

（2）外国人のための生活相談等の実施

※富山県外国人ワンストップ相談センター開設までの間、生活相談を実施

ア　相談件数　※平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 6 月 17 日までの相談件数

内容／国籍	入管手続	雇用・労働	社会保険・医療	年金・税金	出産・子育て	子供の教育	防災・災害	住宅	身分関係	その他	合計
ブラジル	2	2				2		2		1	9
合計	2	2				2		2		1	9

（3）外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア　日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催した。

時　　期：9月21日～11月23日（砺波市）
　　9月28日～12月7日（入善町）
回　　数：各5回
会　　場：砺波市文化会館（砺波市）
　　入善町民会館（入善町）
受講者数：27名（内、砺波市17名、入善町10名）

イ　日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図った。

派遣実績：太閤山日本語グループ　12回
　　日本語教室 in 氷見　15回
　　日本語教室 in 黒部　8回
　　にほんご広場 in なんと　5回
　　ふれあいに日本語教室たかおか　8回

ウ　日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内の各日本語教室のボランティア等のスキルアップや情報交換を目的とし、研修会を開催した。

開催時期：10月26日（土）
開催場所：環日本海交流会館
開催内容：「ベトナム籍住民と共に歩むために
　　―ベトナム人の言語と学びを理解する―」
講師：金沢大学国際機構　准教授　松田真希子氏

エ　日本語ボランティアの研修会等参加費用の支援

地域の日本語教室で活動している日本語ボランティアが、自己研鑽のため文化庁等が行う研修会に参加する場合にその参加費用の一部を助成した。

助成実績：1名

（4）外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。

時　　期：4月～2月　毎月第2土曜（7～10月は第1土曜）
※3月は中国語を予定していたが、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止した。
開催回数：11回（英語（9回）、ロシア語（1回）、ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ語（1回））
会　　場：環日本海交流会館
参加者数：延187名

（5）外国人への防災情報提供

ア　ラジオ番組「BOUSAI　RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をやさしい日本語、中国語、英語、ポルトガル語で提供するラジオ番組「BOUSAI　RADIO」を放送した。

毎月第1・3土曜日　午後9時55分から5分間、FMとやまで放送

（6）災害時の外国人支援のための防災訓練事業

ア　災害時外国人支援ボランティア研修（やさしい日本語コース）

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会を実施した。

日　　時：7月6日（土）
会　　場：黒部市国際文化センター
講　　師：トヤマ・ヤポニカ　要門美規　氏
参加者数：21名

イ　災害時外国人支援ボランティア研修（多言語翻訳コース）

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会を実施した。

日　　時：7月20日（土）
会　　場：黒部市国際文化センター
講　　師：富山県国際交流員等
参加者数：13名

ウ　災害時外国人支援研修（自治体職員等担当者コース）

災害多言語支援センターや避難所の設置・運営の基礎研修と「やさしい日本語」研修を実施した。

日　　時：8月9日（金）
会　　場：富山県民会館
講　　師：一般財団法人ダイバーシティ研究所
代表理事　田村太郎　氏
トヤマ・ヤポニカ　要門美規　氏
参加者数：15名

エ　広域連携による防災研修（石川県、福井県と共同実施）

大規模災害時における石川県と連携した「災害時外国人支援ボランティア研修」を実施した。

日　　時：7月27日（土）
会　　場：石川県国際交流センター
講　　師：NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事　柴垣　禎　氏
NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事　麻田　友子　氏
参加者数：41名（富山県8名、石川県22名、福井県11名）

オ　富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害多言語支援センター」等の運営訓練を実施した。

日　　時：9月29（日）
会　　場：黒部市総合体育センター
講　　師：NPO法人安芸高田市国際交流協会理事　明木　一悦　氏
参加者数：43名（ボランティア13名、留学生・研修員等30名）

（7）アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン諸国の文化や生活習慣をはじめ、各国の魅力を紹介した。令和元年度は、第4回としてミャンマーを取り上げた。

日　　時：10月19日（土）
場　　所：(公財) とやま国際センター研修室A
内　　容：「黄金の国ミャンマーの“おもてなし”」
講　　師：東京外国語大学非常勤講師　ナン ミャ ケー カイン 氏
参加者数：20名

（8）外国人のための防災研修事業

万一の災害時に、県内在住の外国人が迅速かつ適切に対応できるよう、外国人を対象とした同時通訳による防災に関する講習会を10月13日(日)に実施する予定であったが、台風接近の懸念があったため開催日2日前に中止とした。

4　国際理解・研修事業

（計画額　3,848千円　実績額　1,376千円）

（1）語学講座の開催

講座名	コース	期　間	受講者数
中国語	入門	5/20～3/2	10名
	初級	5/23～3/5	7名
	中級	5/21～3/3	8名
韓国語	入門	5/23～3/5	40名
	初級	5/20～3/2	19名
ロシア語	入門	5/21～3/3	14名
ポルトガル語	初級	5/22～3/4	9名
新　英語	初級	5/22～3/4	29名

開催回数：各講座　30回　　計 136名
会　　場：とやま国際センター研修室
※3月の各講座(1回)は、新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から中止とした。

（2）国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応えて現場へ出向いて講座を開催し国際交流・国際理解・国際協力を促進した。

開催回数：64回
参加者数：延べ3,525名
講　　師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB、留学生など

（3）国際交流サロン

ア　ナマステ・インディア

インドのさまざまなことについて英語で紹介し、県民に異文化理解の場を提供した。

開催回数：21 回
参加者数：延べ　233 名
会　　場：とやま国際センター談話室
＊３月は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

（4）とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生との交流などを通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流・国際協力・多文化共生に対する関心を高めた。

時　　期：7 月 14 日（日）～15 日（月・祝）
参加者数：高校生 17 名
会　　場：呉羽青少年自然の家、他

（5）国際交流ひろば

富山県国際交流員が各国の文化を紹介する「国際交流ひろば」を 4 回開催した。テーマ：各国の料理

第 1 回	フランス料理	12 月 14 日（土）10:00～13:00	参加者 20 名
第 2 回	韓国料理	12 月 14 日（土）14:00～17:00	参加者 21 名
第 3 回	ラトビア料理	12 月 21 日（土）10:00～13:00	参加者 20 名
第 4 回	ベトナム料理	12 月 21 日（土）14:00～17:00	参加者 15 名

会　場：富山県民共生センター「サンフォルテ」

（6）国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

（貸出実績）

教　　材：　10 点（3 団体）
民族衣装：　75 点（8 団体）
国　　旗：　116 点（12 団体）

5　情報サービス事業

（計画額　2,365 千円　実績額 2,310 千円 ）

（1）情報紙の発行

拡ア　「Ｗｈａｔ’ｓ　Ｈａｐｐｅｎｉｎｇ」

内　　容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介した。
発行言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語、ベトナム語（新規に追加）
発行部数：隔月（6・8…各 2,100 部、10・12・2・4…各 2,500 部）

イ　「ＴＩＣ　ＮＥＷＳ」

内　　容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を報告した。
発行部数：年 4 回　各 2,000 部

（2）多言語メールマガジン情報提供

内　　容：外国人住民などに幅広く国際交流事業、イベント情報、生活情報、防災情報等を提供する多言語メールマガジンを配信した。
対応言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語、ベトナム語
配信回数：12 回（4 月～3 月）
登録者数：211 名（令和 2 年 3 月末）

（3）国際交流人材バンク

ア　国際交流人材の登録と紹介

（紹介実績）

区　　分	件数	内　　訳（人）
通　訳　者	19件	英語(9) 中国語 (8) ベトナム語 (3) ロシア語(2) インドネシア語 (2) 韓国語 (1) 台湾語（1）ウルドゥー語(1) ビルマ語(1) ポルトガル語 (1)　計：29名
翻　訳　者	28件	英語 (17) ポルトガル語 (3) 中国語 (3)ロシア語 (1) ベトナム語(1) 韓国語(1) ギリシア語(1) 台湾語(1) インドネシア語(1)　計：29名
ホストファミリー	4件	計：8名
日本語指導者	1件	計：2名
海外事情紹介者	4件	計：4名

拡イ　通訳者の資質向上のためのセミナー開催（1回開催⇒2回開催）

医療通訳をテーマに、国際交流人材バンク通訳・翻訳登録者を主な対象にしたセミナーを開催した。

・1回目

日　　時：9月29日(日)
会　　場：環日本海交流会館
受講者数：15名
内　　容：「医療通訳 ～外国人の診療、日本人患者とはどんなに違うのでしょうか?～」
講　　師：在名古屋ブラジル総領事館 在留市民協議会 医師　中萩　エルザ氏

・2回目

日　　時：1月11日(土)
会　　場：(公財)とやま国際センター研修室A
受講者数：36名
内　　容：「通訳ガイドというおしごと」
講　　師：全国通訳案内士　島崎　秀定氏

6　環日本海交流会館管理運営事業

（計画額　10,357千円　9,666千円）

（1）施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営を行った。国際交流・国際協力に関する図書などの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

・総利用者数　22,545名
　（一般利用者数　13,191名、会議室利用者数 9,354名（うち、大会議室利用　3,824名））
・図書、ＤＶＤ等の利用件数　1,088件
　（図書976件、DVD74件、CD38件）

7　富山県大連事務所運営事業

（計画額　30,741千円　実績額24,828千円）

（1）　経済交流の推進

ア　訪問・来訪等による情報収集等

イ　各種ミッション等に対する協力・支援

・遼寧省日中商談会への支援

ウ　各種商談会、セミナー等の調査・視察

・日中地域間交流推進セミナー、日中経済協力会議、大連電気メッキ産業園区、大連市金州区、黒竜江省ハルビン市　ほか

エ　観光客の誘致

・中国の旅行会社等との面談、情報収集、ＰＲ等
・大連便インバウンド促進事業に対する支援
・大連観光説明・商談会への支援
・中部各県の在中国自治体事務所合同による北京国際旅游博覧会への参加、観光ＰＲ活動
・「大連日本商品展覧会」、「日本商品大連地区巡回展」、「大連海外旅行商談会」、「中日文化旅游大連交流会・観光プロモーション」、等での観光ＰＲ活動

オ　その他

・大連富山企業会の開催
（6月13日、9月17日、12月6日、開催）
セミナー、企業視察、意見交換会等の開催
・県内企業の中国への新規輸出調査に係る支援
・富山－大連便の利用促進についての連絡調整、増便交渉等に係る支援

（2）　各種交流事業への支援

ア　学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

・富山県・遼寧省友好県省35周年記念 青少年交流事業への支援
・富山県・遼寧省友好県省35周年記念「富山・遼寧省 青少年書画展 2019」派遣事業への支援
・県内高等教育機関在籍学生の企業実務研修事業への支援
・遼寧省との揮発性有機化合物合同調査事業への支援
・大連日本人学校小学生6年生の総合学習に対する支援

イ　要人等の来訪時の対応

・現地進出企業代表取締役等の来連対応

ウ　友好交流事業への協力

・日中友好富山県地方議員連盟訪中事業に対する支援

（3）　富山ファン倶楽部の活動

ア　総会の開催（10月14日 瀋陽、　12月6日 大連）
イ　大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催（12月6日　大連）
ウ　富山里帰りツアーの実施（9月30日～10月5日）
エ　会員への富山県情報の提供
オ　会員名簿の更新、新規会員の加入促進（会員数395名（2019年3月末時点））

Ⅱ　日本海学推進事業

（計画額　7,500千円　実績額7,353千円 ）

1　日本海学講座

北陸の工芸さまざま ―新潟・富山・石川・福井―	日本大学芸術学部美術学科 教授　大熊　敏之	7月6日（土）	参加者 70名
近代日本における日本海沿岸地域の 産業化と日本海海運	慶應義塾大学経済学部 教授　中西　聡	8月31日（土）	69名
富山売薬の薬 ―江戸時代を中心に―	富山市売薬資料館 学芸員　兼子　心	11月30日（土）	78名
変わりゆく？富山湾の魚たち！	魚津水族館 館長　稲村　修	1月11日（土）	69名

2　日本海学シンポジウム

時　　期：2月15日(土)
会　　場：北日本新聞ホール
参加者数：120名
テ ー マ：
「富山湾から探る未来の海―持続可能性への展望―」
基調講演：桜井　泰憲
（(一財) 函館国際水産・海洋都市推進機構　函館頭足類科学研究所　所長、北海道大学名誉教授）

3　大学講座等推進事業

	内　　容	受講者数
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に初鹿宏壮氏（富山県環境科学センター副主幹研究員）を派遣	約 110 名
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に大田希生氏（水中カメラマン）ほか２名を派遣	約 40 名
富山県立大学	「環境論Ｉ」に和田直也氏（富山大学極東地域研究センター長）を派遣	約 250 名
	「富山と日本海」に松島吉信（富山県総合政策局参事）ほか１名を派遣	約 150 名

4　日本海学研究グループ支援事業

助成実績　応募 6 件、助成 6 件、助成総額 1, 600, 000 円
平成 30 年度助成分成果発表会　(5 グループ・個人)
時　　期：6 月 15 日(土)
会　　場：富山県民会館 702 号室
参 加 者：48 名

5　環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

シンポジウム「大豆は大事：北東アジアにおける大豆生産の今後を考える」
期　　日：2 月 27 日（木）
場　　所：富山県民会館 702 号室
参 加 者：一般県民、研究機関研究者約 40 名

6　富山湾の魅力体験親子教室

開 催 日：8 月 3 日(土)、8 月 4 日(日)
場　　所：富山高等専門学校臨海実習場、富山湾
参 加 者：3 日　33 名(子ども 17 名、保護者 16 名)
　　4 日　24 名(子ども 13 名、保護者 11 名)

Ⅲ　旅券関係事業

（計画額　44, 645 千円　実績額 42, 996 千円 ）

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

（旅券発行状況）

区　分	令和元年度件数(確定値)	平成 30 年度件数(確定値)	対比(%)
新規発給	23, 410	26, 301	89. 0%
記載事項変更旅券	506	540	93. 7%
渡航先追加	0	0	－
査証欄増補	56	62	90. 3%

＊令和２年３月（単月）の新規発給件数　７４８件（対前年同月比△71. 9%）